

明治天皇行幸と杉戸②
「北葛飾・中葛飾郡役所」

明治十四年（一八八二）の奥羽巡幸の際、清地村（現杉戸町清地）にあった北・中葛飾郡役所（現在の杉戸町役場の位置）が、明治天皇の御小休所になりました。現在の杉戸町役場敷地内には、そのことを記念して大正十一年（一九二二）に建立された「明治天皇御駐蹕記念碑」が今もあるため、御存知の方も多いのではないのでしょうか。

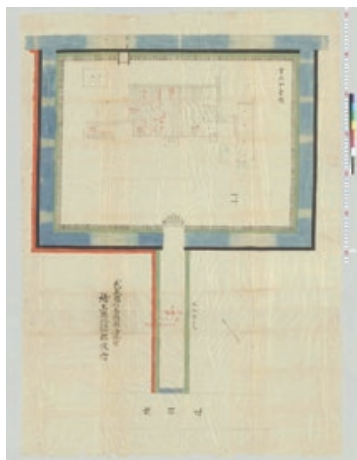
しかし、郡役所そのものや、そこでの明治天皇の御小休の様子などは、これまであまり知られていませんでした。今回、宮内庁所蔵の史資料公開によって、その様子の一部が明らかになりました。下の絵図は、宮内省（現宮内庁の前身）内匠寮が明治十四年に作図した「埼玉縣北葛飾・中葛飾郡役所図」です。この絵図面をよくみると、郡役所敷地の周りには、堀が廻らされているのがわかります。郡役所庁舎裏側の堀は、南側用水をそのまま活かし、そこから敷地周囲にも堀を廻らし、用水の水を引き込む形となっています。それほどばかりか、用水内側には矢来のような柵も廻

らされています。入口は、郡役所表（正面）の陸羽街道からの一か所となっており、そこに門が設けられているという構造です（ただし、南側用水側に裏口がある）。多少誇張すれば、まるで中世武士の館のようです。

この明治天皇の御小休所となった郡役所に對しては、金拾五円が下賜されたことが明治十四年の「巡幸日誌」から分かります。

また、郡役所で明治天皇が御小休された際、地元清地村の関口酒造の井戸水が、明治天皇の御料水として提供されたようです。（おわり）

※明治二十九年、中葛飾郡は、北葛飾郡へ統合。



北・中葛飾郡役所図

★郷土の偉人・大島有隣は、10月号以降に続きます。

（社会教育課 町史・文化財担当編）

SDGs（エスディーゼズ）週間

問合せ

総合政策課 政策行革担当 内線209

「SDGs週間」は、SDGsが国連サミットで採択された9月25日を含む約1週間となります。

持続可能な開発目標（SDGs）の推進と達成に向けて意識を高め、未来のために行動するきっかけにしましょう。

SDGsは「誰一人取り残さない」世界共通の目標

貧困や環境問題など、世界中の様々な課題解決のために17のゴールと169のターゲットを掲げ、2030年（令和12年）までに達成を目指します。

杉戸町の取組を紹介します！

性の多様性について、正しい知識と理解を深め、適切な対応を学ぶ「性の多様性／LGBTについて」の職員研修を進めています。

受講した職員は、杉戸町オリジナルLGBTバッジを着用しています。



【これからの取組】

- ・「性の多様性／LGBTについて」町民向け講座
- ・パートナーシップ・ファミリーシップ制度導入